



# 校長室だより

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和4年5月26日  
第8号



天気のよい日が続いていますね。このところ児童玄関前のコーナーにはツバメが頻繁に行き来しています。本格的に巣作りをしているのかどうかは確認できていないのですが、幸せを運ぶといわれるツバメの姿を見てるとそれだけでうれしい気持ちになります。

これまで自宅待機をしていた子供たちも、今週に入り徐々に登校を再開しています。よかったです。一人一人の子供が自分の健康状態に目を向け、安心・安全な学校生活を共に送れるように、指導や支援、環境づくり等に努めていきます。

4月から使っている検温カードのケースが傷んできています。ランドセルに付けられる同様の物であれば、百円ショップなどで売られている市販の物でも大丈夫ですので、各ご家庭で補修や買い換えをお願いいたします。



5月		検温カード	
1日	26.4℃	16日	25.9℃
2日	26.6℃	17日	25.9℃
3日	26.7℃	18日	26.6℃
4日	26.6℃	19日	26.1℃
5日	26.6℃	20日	26.7℃
6日	26.7℃	21日	26.6℃

## 毎週水曜日は永田SCの教育相談日です

今年度の本校のスクールカウンセラー（SC）は永田悟先生です。毎週水曜日に勤務し、校内を回って子供たちの様子を見ていただいています。特に面談予定のない場合でも、休み時間等に子供と親しく話しておられます。たずまいも話し方も優しい永田先生の雰囲気にも包まれ、子供たちも素直に自分を表現できているようです。



永田先生との個別の面談を希望される場合は、学校（相談コーディネーターは教頭です）までご一報ください。保護者の方の相談でもよろしいですよ。

## 楽しく学ぶ意欲を大切に

★「校長先生、聞いてください！」

先日、ひまわり級の子が国語のノートを手にもって校長室にやってきました。国語の時間に取り組んだ作文を聞いてくださいとのこと。塩田先生にサポートしてもらいながら、ノートに貼り付けた原稿用紙を広げて音読してくれました。休日に家族でカードゲームをしたことが細かく書かれていて、その分量の多さに感心しました。そっと用紙をのぞき込むと、塩田先生の赤ペンのコメントもたっぷり書かれてありました。今回の作文で「」（かぎかっこ）の書き方にも慣れたそうです。よかったですね。そして、校長室に発表しに来てくれてありがとう。うれしかったです。



★「かなりうまくなった気がする！」

4年生の音楽はリコーダーの練習に取り組んでいました。今月いっぱいにはマスクを外さず、指使いだけの練習です。それでも「♪ア〜ラ〜ド〜ラ〜リ〜」と声を出して（マスクの中で）歌いながら、楽しそうに練習している子供たちの表情が印象的でした。「もうかなりうまくなった気がする」「早く先生に見て（聞いて）ほしい」という声も聞かれ、子供たちの意欲が十分感じられました。



## ★5年「バケツ稲学習」がスタート

24日（火）にJAくろべの皆さんに教わりながら、一人一人、発芽した種籾を5粒ずつ植えました。今後の成長が楽しみです。

地域の専門家の方に教わりながらの学習は子供たちにとってよい刺激となります。意欲をもって学習していけることでしょう。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。

## 環境委員会「リサイクルの日」

環境委員会の子供たちによる「リサイクルの日」が、25日(水)に行われました。

委員会黒板でのお知らせや給食時の放送での呼びかけにしっかり反応してくれた荻っ子たちが、各家庭からのアルミ缶、ペットボトル、キャップを思い思いに持参しながら登校しました。児童玄関内では、新川リサイクルセンターからお借りしている専用のネットケースに集めます。環境委員会からのお礼のカードをもらい、得意げにカメラに向けてくれる子もいました。

持続可能な社会のために自分たちにできることを考えて実行しているのがいいなと思います。こうした意識を高めることが、自分たちの学校生活を自分たちでつくっていくことにもつながります。より楽しく笑顔いっぱいの学校への第一歩です。

「リサイクルの日」は来月も2回予定されているようです。ぜひ、各ご家庭でもご協力を……。

## シリーズ「教室におじゃまします」5/24(火)3年 国語科の巻

この日は国語辞典の使い方を学習する時間でした。子供たちが用意した国語辞典は、元々家で使っていたような大人向けのものから、小学生向けの「ジュニア国語辞典」まで様々で、小学館、学研、三省堂と出版社もいろいろでした。どの子も「辞典を使いたい」意欲がまんまんで、近くの友達との相談の様子も、それはそれは夢中そのものでした。近付き過ぎていかなという子たちもいましたが、マスクをしっかりとっているので、まあよしとしましょう。

まずは「ふかい(深い)」という語を調べることをスタートに、「ふかい」「ふわふわ」「ふえる」の順番を確認し(当然、辞典の出版社は違っても語の順番は同じでした)、その後、教科書でポイントを確かめました。岡本先生の問いに答えながら、その間にも手元の辞典のページをめくってあれこれ調べたり、別のおもしろい言葉を見つけて教え合ったり……。

岡本先生の指導プランを追い越すほど子供たちの意欲が勝る授業でした。でも、それでよかったと思いました。何より、国語辞典という新しい学習ツールを手にした子供たちの生き生きとした表情が素晴らしく、この意欲を生かした授業の流れを考えていくことが教師の仕事のおもしろさなのだろうと、改めて思いました。

この意欲を生かした授業の流れを考えていくことが教師の仕事のおもしろさなのだろうと、改めて思いました。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。